

上田市空き家セカンドユース事業 (長野県上田市)

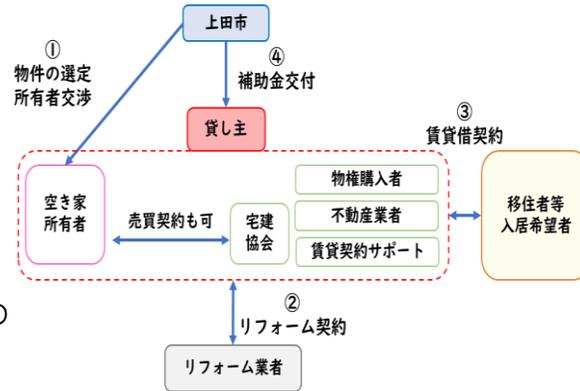
取組概要

空き家対策に、「賃貸」の選択肢を広げる。

これまでの空き家対策は「解体」または「売買」が主なものでしたが、「賃貸」の選択肢を広げる取組です。

空き家は、そのままの状態では借り手希望が少ないため、市内の空き家を所有者がリフォームをした後、原則5年間賃貸物件として運用する場合に、市がリフォーム費用の1/2(上限50万円)を補助します。

空き家の「賃貸」を行う仕組みを行政がサポートをすることで、空き家の解消と同時に、移住者の増加や需要が高い地域への居住誘導といった効果を見込んでいます。



人口 152,484人 (R6.1.1現在)

担当 住宅政策課



リフォーム前の空き家。
残置物もそのまま対応します。

取組の効果

令和4年から事業を開始し、現在4件の空き家が賃貸物件として利用されています。

※令和5年度の目標件数は4件。令和6年からは10件を目標に設定。

★所有者は「手放すことへの気持ちの整理」「放置空き家の解消」、入居者は「実際に居住してから購入検討できる」といったメリットがあります。

創意・工夫した点

●民間企業との連携が不可欠となるため、長野県宅地建物取引業協会と事業協定を締結し、物件の買取、賃貸契約の事務サポート等専門的な部分はプロと分業にて行っています。

●補助金交付タイミングを「入居確定後」とすることで賃貸需要に確実に応える仕組みとしています。

他団体へのアドバイス

空き家の増加は全国的な共通課題として認識されていますが、同時に賃貸物件の需要、大家業の需要も拡大しています。

組み合わせることで新たな空き家対策の一手となります。



水回りを中心に内装もリフォーム。
すぐに入居者が見つかり、空き家が解消。